

炎天下の中、平和を求めてパレードに参加しました！



憲法9条を守り広めよう！

9月9日、大阪・中之島公園において、憲法9条を守り広める市民・団体が主催する「9・9・9ピースパレード」集会が開催されました。

分会からも3名の仲間が参加し、炎天下の中、難波まで大阪のメインストリートとも言える御堂筋を縦断しパレードしました。

集会は、参加者自身がそれぞれが用意した服装や横断幕を掲げながら、通りの市民に平和の大切さと憲法9条を守ることが戦争反対への取り組みになることを訴えました。

私たちは、「9条連・近畿」の仲間の皆さんと共に、阿波踊りとばっぴを披露しながらの行進をしました。



この日は、沖縄や岩国において「オスプレイ」の配備反対を求める市民集会が開催されている最中であり、パレードは単なる平和行進だけでなくそうした米軍の戦力強化、日本の軍事大国化への道に反対する集会とも連帯して行われた意味のあるものでした。

「オスプレイ」は既に2件の墜落事故を起こし、最近もアメリカ国内において市街地へ緊急着陸をする報道がありました。こんな危険な物が、沖縄の空を子供たちの頭上を飛行すること自体、想像するだけでも恐怖を感じます。

米軍・普天間基地の増強・オスプレイの配備に反対しよう！

最近、竹島、尖閣列島などの領土問題において近隣の外国との関係が不安定になっています。これらの背景にはそれぞれの国の選挙など複雑な原因も関係しています。こうした不安や危険な状態をアピールするマスコミによる市民感情の操作も、改憲を意図した動きと密接につながっています。私たちは、あらゆる戦争政策に反対し憲法9条を守り広める取り組みに賛同してこれからも闘っていきます。